

武陽食品株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル

TEL 03-3211-4831 Fax 03-3211-6004



## 武陽月報は、大豆と共に情報をお届けするニュースレターです。

### より良い大豆をお届けするために #2

前月号でご案内しました通り、弊社は福島県二本松市の長命工業団地に大豆保管用の定温倉庫(大豆の品質を維持するために夏場でも倉庫内温度を 15℃以下に維持)を含む倉庫棟(約 1,700 m<sup>2</sup>)と営業所用の事務所棟を建築する予定です。

今般、二本松市の「広報 にほんまつ令和2年8月号」において、弊社の土地取得に関する記事が掲載されましたので、ご紹介いたします。弊社は二本松市より工業団地中央部の約 7,000 m<sup>2</sup>の用地を譲り受けました。近くには、目印となる奥の松酒造(インターナショナル・ワインチャレンジ 2018”チャンピオン・サケ”を獲得した酒蔵)があります。



### 豪雨被害による国産大豆の状況

九州における大雨、河川の氾濫による被害状況が大変気掛かりな状況です。

大豆の育成にどの程度影響を及ぼすかは、いずれにしても今後の調査を待つしかないと思われます。現時点での被害状況は把握できておりませんが、この時期は特に九州地方では本来梅雨明けとともに、ちょうど播種の適期にあたります。大雨が発生した時点では、播種がそこまでは進んではいなかったようですが、今回の断続的な大雨により、播種作業の遅れが懸念されます。また、今後水がはけて播種ができるかなど、圃場の状況も注視していく必要があります。

岐阜における大雨の影響に関しても、東海地方でもあまり播種が進んでいなかったようで、そのため大豆への影響度合いが見えてくるのは今後になると言われております。

国産大豆は、平成 30 年産から 2 年連続で不作となっております。大豆業界では、天候被害による収量減少で取引価格が高騰した平成 25 年産の記憶が新しい中で、また国産大豆が抱える課題(気象に大きく左右される収量、それに伴う価格の変動)を再び認識せざるを得なくなりそうです。

当社の営業地盤であります宮城県、福島県、山形県の大豆生育状況は弊社のホームページからご覧ください。情報は順次更新して参ります。

検索閲覧は【武陽食品】→【トップページから大豆生育状況】になります。

<https://www.buyou.co.jp/publics/index/20/>

また、弊社では国産大豆の播種前入札取引に毎年参加しております。例年2月頃に日本特産農産物協会より播種前入札の案内があり、3月頃に入札(年1回)が実施されます。ご興味のある方は弊社営業担当にお声掛けください。

### 令和元年産国産大豆の最終回入札結果

日本特産農産物協会より令和元年産第 8 回入札結果が発表されました。

平均落札価格(60kg 当たり)は、普通大豆 10,161 円(前回比△211 円)、特定加工用大豆 9,625 円(前回比△138 円)、平均 10,080 円(前回比△194 円)となりました。普通大豆・特定加工用ともに落札価格は落ち着いてきており、市場では前月同様に新穀までの大豆調達には目途がついてきたものと推察されます。

また、今回は最終回ということもあり、上場数量は前回より 1,643 トン少ない 2,847 トンでしたが、落札率はほぼ

前回並みの 83.3%(前回 85.3%)で、大きな変動のない結果となりました。

新型コロナウイルスの影響もあり、今後の需要動向には不透明感がありますが、早く観光・経済とも回復してくれることを願っております。なお、今回で令和元年度産の国産大豆入札は終了となり、主要銘柄(北海道、東北を抽出)の平均落札価格は下記の通りでした。

【主な銘柄の平均落札価格】

単位：円

産地	粒別	品種銘柄	今回	前回(R2/6月)	増減
北海道	大粒	とよまさり	9,788	10,070	△282
青森	大粒	おおすず	9,952	9,706	+246
宮城	大粒	ミヤギシロメ	9,650	9,483	+167
山形	大粒	里のほほえみ	10,743	11,052	△309
山形	大粒	エンレイ	9,659	11,933	△2,274

「価格動向およびネットショッピングに関する意識調査」について

消費者庁より「価格動向及びネットショッピングに関する意識調査結果」と題した物価モニターの意識調査の報告がありました。新型コロナウイルスの拡大に伴い、外出しない生活がニューノーマル(新常態)として定着し始めており、新たな販売ルートとしてインターネットによる販売体制の確立も今後の重要な課題と感じます。

インターネットによる買い物の利用頻度は1年前と大きく変化しており、頻度が増加傾向にあり、特に「利用しない」人がゼロになっていることが注目されます。利用頻度の年代別では、20代の利用が高位にあり、30代から60代までほぼ同程度、60代と70代でも必ず何がしかの利用をしており、ネットショッピングの活用により、外出や人との接触を極力減らしていこうとする動きが現れているように思われます。

「値上げ・値下げ」に関する意識調査結果によれば、約8割の人が値上げを感じており、生鮮食料品・家庭用消耗品・飲食料品が中心となっておりますが、値下げを感じている人は約4割で、6割の人は「特になし」を選択しています。本来であれば、夏のバーゲンセールのと時期ですが、値下げ感が少ない夏となっているようです。

【インターネットによる買い物の利用頻度】

	週2~3回	週1回	月2~3回	月1回	年数回	利用しない
2020年6月	7.1%	17.7%	36.2%	25.2%	13.8%	0.0%
2019年3月	3.4%	11.5%	29.4%	28.2%	20.8%	6.7%
増減	3.7%	6.2%	6.8%	-3.0%	-7.0%	-6.7%

【年代別 インターネットによる買い物の利用頻度】

	週2~3回	週1回	月2~3回	月1回	年数回	利用しない
20代	17.9%	35.7%	14.3%	17.9%	14.3%	0.0%
30代	6.5%	18.5%	41.5%	20.0%	13.5%	0.0%
40代	9.0%	19.4%	38.0%	23.3%	10.2%	0.0%
50代	7.3%	18.5%	35.2%	26.1%	12.9%	0.0%
60代	4.6%	14.6%	36.1%	28.9%	15.8%	0.0%
70代	3.1%	9.2%	30.0%	29.2%	28.5%	0.0%

【日々の買い物で値上げ・値下げがあったと感じたもの】

	生鮮食料品	家庭用消耗品・雑貨	飲食料品	医療品・健康用品	外食	水道光熱費	自動車維持費	通信関連	衣料・履物	特になし
値上げ	54.5%	37.0%	29.4%	13.6%	10.8%	10.8%	6.0%	5.9%	5.3%	17.0%
値下げ	6.5%	2.6%	3.6%	0.9%	8.3%	3.5%	6.4%	0.5%	7.7%	62.2%

- |           |              |                         |              |
|-----------|--------------|-------------------------|--------------|
| □ 本社      | 03-3211-4831 | □ 飼料部宮城営業所              | 0229-25-8680 |
| □ 東北第一営業所 | 0229-54-1151 | □ 飼料部福島営業所              | 024-593-5121 |
| □ 山形出張所   | 0234-21-9144 | □ 大豆選別・挽割加工工場(宮城県美里町)   |              |
| □ 東北第二営業所 | 0243-24-5818 | □ 大豆保管第1・第2定温倉庫(宮城県大崎市) |              |

\* ご用命はお近くの営業所または本社営業部まで、お願いします。